

令和6年度 第5回 豊田市猿投台地域会議 会議録

開催日時	令和6年9月19日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後7時45分
会場	猿投台交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：16人		
	会長：伊藤 昌明 副会長：河合 好金		
	委員：井口 俊一 加藤 明彦 北川 勝男 呉山 永石 三田 美恵子 清水 有樹 末廣 洋兒 外輪 ルリ子 塚本 政幸 中根 秀樹 原田 千枝美 春木 俊弘 藤中 佐織 本多 謙二		
欠席者	3名(伊藤 正史、古賀 親、鈴木 光司)		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、宮石担当長、古橋主査		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊田市民の誓い(唱和) 2 会長あいさつ 3 令和7年度以降の地域課題解決事業について 4 わくわく事業現場訪問について 5 情報共有・事務連絡 		

■ 議事(要約)

3 令和7年度以降の地域課題解決事業について

・矢作川河畔環境整備事業について、事務局が資料に基づき説明
質問・意見なし、原案のとおり承認された。

・ゾーン30区域内における安全性向上事業について、事務局が資料に基づき説明。下記の質疑のうえ、原案は承認された。

委員：電柱への啓発巻き看板はいつから設置する予定か。

事務局：今年度から、調整し実施する予定である。

委員：先日、越戸こども園へ孫を送迎していた際に30キロ走行していたら、後方車から煽られた。あの道を走る運転者には30キロ走行の意識がない。

事務局：そのような現状を踏まえ、猿投台では執拗にできることを行っていきたい。

委員：より効果が見込まれる取組をすべきだと思う。

委員：速度抑制のためには、路面標示による30キロ制限表示をするべきだと思う。

事務局：路面標示は道路管理者との調整が難しい。

委員：軽いハード整備から、実効性のあるハード整備に移行して行ってほしい。

・防災・防犯活動を通じた多世代交流事業について、事務局が資料に基づき説明。下記の質疑のうえ、原案は承認された。

委員：防犯活動の備品購入費は市交通安全防犯課の支給物品と被るのでは。

事務局：重複する部分もあると思うが、猿投台地区として独自性がある物品は本事業の

予算にて作っていきたいと思っている。

委員：市は防犯パトロール用ののぼり旗の支給はしていないと聞いている。市交通安全防犯課は少額な物品であるが、支給が難しいと言っている。

事務局：そのようなご意見も踏まえ、事業計画書を作成した。今後も皆さんの声を反映して作り込んでいけるように進めていきたいと思う。

委員：こども110番の看板が色あせている。そういった物品の更新も予算化してもらえないだろうか。

事務局：頂いたご意見を参考に予算化していきたい。こども110番の家は警察の取組のため、調整しながら進めていく。

委員：防犯活動で使用する青パトランプの更新も前向きに検討してもらえないか。

委員：こども110番の家ウオークラリーはとてもいい取組だと思う。親子も、自治区でさえも場所を把握していない。完成したマップはぜひ自治区民に配布してほしい。

事務局：ご意見ありがとうございます。今後、地域のニーズに合わせて詳細を考えていきたい。相談先は地域会議や自治区を考えている。今後も皆さんからご意見を頂けると大変ありがたく思う。

4 わくわく事業現場訪問について

・青木桜坂整備協議会

上記団体の活動状況を事務局より報告

5 情報共有・事務連絡

(次回の予定)

日時：令和6年10月17日（木）午後7時から

場所：猿投台交流館1階 多目的ホール